

第6回ジャパン・パートナーリング・ウィークを開催

革新的な医薬品の創出を目指し 日本国内の製薬企業、研究機関やバイオテクノロジー企業との連携を促進

ブリストル・マイヤーズ スクイブは、10月13日から6回目となるジャパン・パートナーリング・ウィークを開催しました。

ジャパン・パートナーリング・ウィークは、日本の企業、研究機関とのパートナーシップ構築を目的として、ブリストル・マイヤーズ スクイブが毎年開催している事業開発イベントのひとつです。本イベントは、当社の日本におけるオープンイノベーション活動 (Japan Open INnovation: JOIN)の一環でもあり、新しい治療法へつながる可能性のあるイノベーションを有する国内の研究機関やバイオテクノロジー企業、製薬企業と連携し、革新的な医薬品の開発を加速化することを目指しています。当社は現在 10 を超える提携プロジェクトを日本全国の大学やバイオテクノロジー企業と進めています。また、15 社を超える日本の製薬会社ともこれまで様々なアライアンスを築いてきました。

今年のジャパン・パートナーリング・ウィークでは、10月12日から14日まで横浜で開催されたアジア最大級のパートナーリングイベント「BioJapan」において、当社主催セミナーを実施しました。セミナーでは、米国本社および日本の幹部が、ブリストル・マイヤーズ スクイブグローバルおよび日本アジアにおける開発の初期から後期段階までの事業開発戦略や注力領域について説明し、日本の製薬会社、大学などの研究機関、バイオテクノロジー企業、ベンチャーキャピタル企業などから約100名が参加しました。加えて、その後約一週間にわたり、それら外部機関との個別の面談を実施し、今後のパートナーシップ締結に向けて活発な意見交換を行いました。

ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社代表取締役社長のジャン=クリストフ・バルランは、次のように述べています。「心のこもったイノベーションを掲げる業界のゲームチェンジャーとして、サイエンスを通じて、患者さんの人生に違いをもたらすというビジョンの実現に向けて、社内での創薬のみならず外部とのパートナーシップ構築を積極的に進めています。特に日本には有望なシーズを有する研究機関やバイオテクノロジー企業が数多くあり、将来的な協業に向けた話し合いを続けています。JOIN でのパートナーシップを通じて、基礎研究から臨床開発への流れを加速し、革新的な治療薬を日本を含む世界中の患者さんに一日も早くお届けできるよう努めています。」

ブリストル・マイヤーズ スクイブのオープンイノベーション活動に関する詳細は、ウェブサイト (<https://www.bms.com/jp/researchers-and-partners/open-innovation.html>)をご覧ください。

ブリストル・マイヤーズ スクイブについて

ブリストル・マイヤーズ スクイブは、深刻な病気を抱える患者さんを助けるための革新的な医薬品を開発し、提供することを使命とするグローバル・バイオファーマ企業です。詳細は、[BMS.com](#)、[LinkedIn](#)、[Twitter](#)、[YouTube](#)、[Facebook](#)、[Instagram](#)をご覧ください。